

報道関係各位

2016年9月14日
アイ・タップ株式会社

開発不要 IoT の実証実験が即日可能に Beacon ソリューションツール「SOEL[®]」を提供開始

アイ・タップ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：重野 悟、以下アイ・タップ）は、この度、ウィザード機能で Beacon と受信機を制御することにより、開発不要で人流動線を視覚化、所在確認、O2O 施策といった実証実験環境を短納期・低コストで構築できるソリューションツール「SOEL（ソエル）」の提供を開始します。

Beacon は、BLE（Bluetooth Low Energy）をベースとした近距離無線発信機で、すでに国内でも普及の進んでいる iPhone や Android といったスマートフォンを受発信端末として使えるという利便性を背景に、商業施設や公共施設内でのナビゲーションや O2O プロモーション、オフィスや住宅等における IoT デバイスとしての実用化も進んでおり、Beacon 関連市場は 2015 年の段階で 43.8 兆円（※注 1）ともいわれています。

一方で、Beacon を実用化する場合には、Beacon の通信品質が設置環境等の影響を受けやすいことから、利用シーンを検証するための実証実験を必要とする場合が多く、実証実験にかかる開発費用や期間が実用化に向けての課題となるケースが多いのが実情です。

当社では、企業内の在席確認システムを提供して参りましたが、顧客から人流解析や安否・所在確認などのサービスへの要望をいただくことが多く、そういった声にお応えするべく Beacon を利用したサービス開発を進めておりました。加えて、自社調査の結果、Beacon サービスの導入時に不可欠といえる実証実験を開発不要で実施できる環境がまだ市場になかったこともあり、ビジネスチャンスととらえ「SOEL[®]」の提供にいたしました。

Beacon の本格導入に向けて実証実験を短期間かつ低コストで実現したいという要望に応えるため、「SOEL[®]」は、通常のプッシュ通知サービスのほか、室内位置情報検知をベースとした人流解析やナビゲーションサービスといった、実用用途の高い Beacon システムを開発なしで実現します。

また、「SOEL[®]」はクラウドサービスのため、利用登録いただくだけで即日より実証実験が可能となります。

実証実験や本格的な開発前のトライアル運用環境を簡単に構築でき、その結果を検証した上で本サービスの開発が可能となり、結果的に効率的なサービス開発に貢献します。

【SOEL 概要】

1) サービス形態

- －提供方式：クラウドサービス（Web 及びスマートフォン専用アプリ利用）
- －サービス開始：Web 登録完了後、即日利用可能
- －利用料金：1 管理アカウント(*1) 380,000 円（60 日間）

*1 1 管理アカウントあたりの各登録最大数は次のとおり

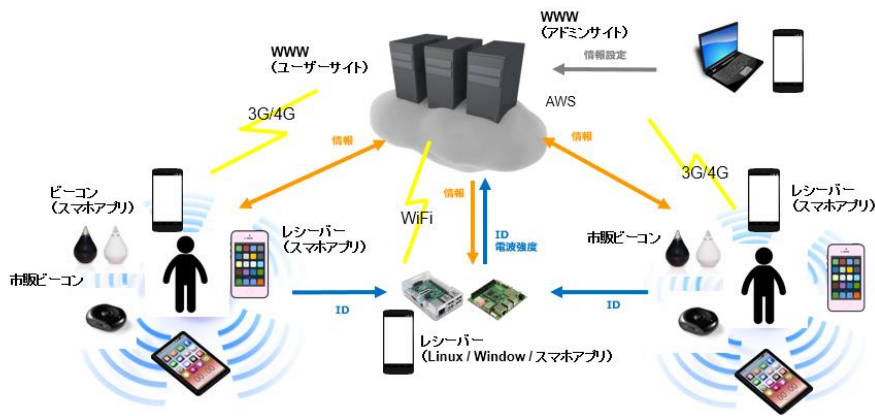
- ・【ユーザー登録数】 管理ユーザー = 5ID、一般ユーザー = 50ID
- ・【ハードウェア登録数】 Beacon 登録数 = 50 個、受信機 = 10 個

ー対応ハードウェア：

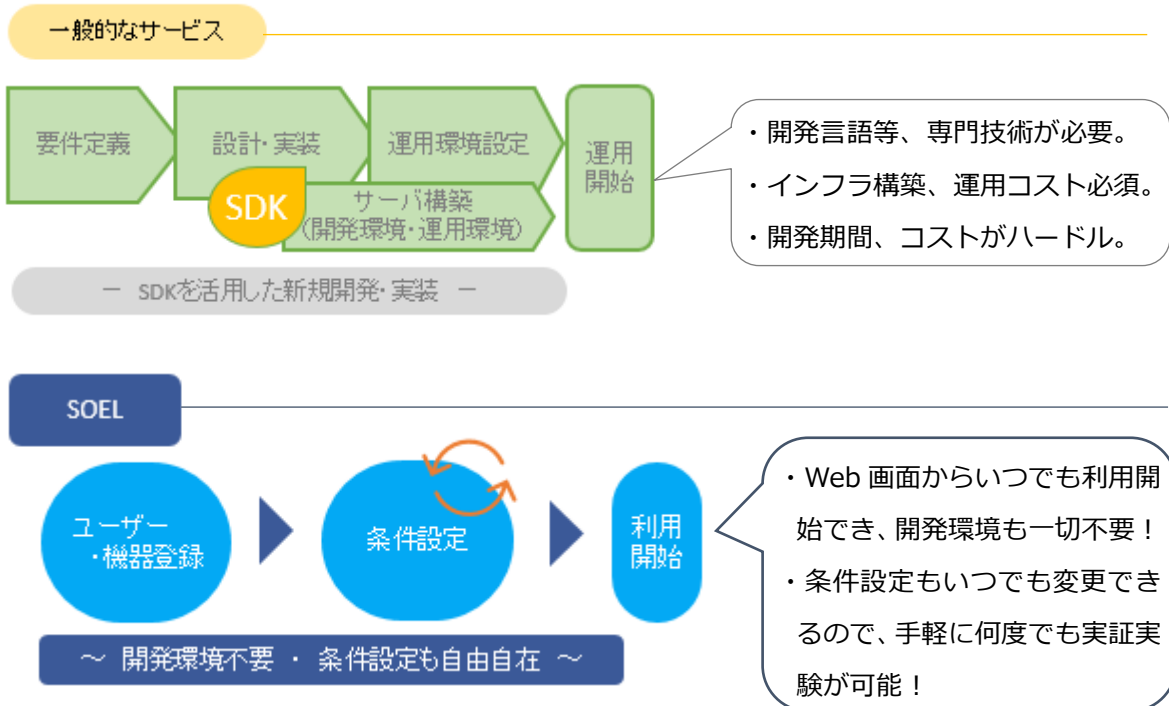
- Beacon：(1)市販のiBeacon（当社検証済みの機器に限る）
(2)iPhone（Apple社のiBeaconアプリをインストールして使用）
(3)Android 5.1以降（SOELアプリをインストールして使用）
- 受信機：Android 5.1以降
(SOELアプリをインストールして使用、当社検証済みの機種に限る)

2)特徴

- *クラウドサービスのため、利用登録したその日から利用可能
- *市販iBeaconに対応したプラットフォームで、かつ、お手元にあるスマートフォンもiBeaconとして活用可能
- *既存のフロアマップを活用して、位置情報の検知や人流解析も可能
 - ・SDKとは一線を画す、ビーコンソリューションを生み出すための強力な開発プラットフォーム
 - ・ウィザード(対話型開発)機能により、高度なプログラミング知識がなくても簡単にビーコンソリューションを作成
 - ・スマートフォンだけでなく、iBeaconやiPadなど様々なビーコンデバイスに対応



3) 競合製品との違い



4) 機能紹介 (抜粋)

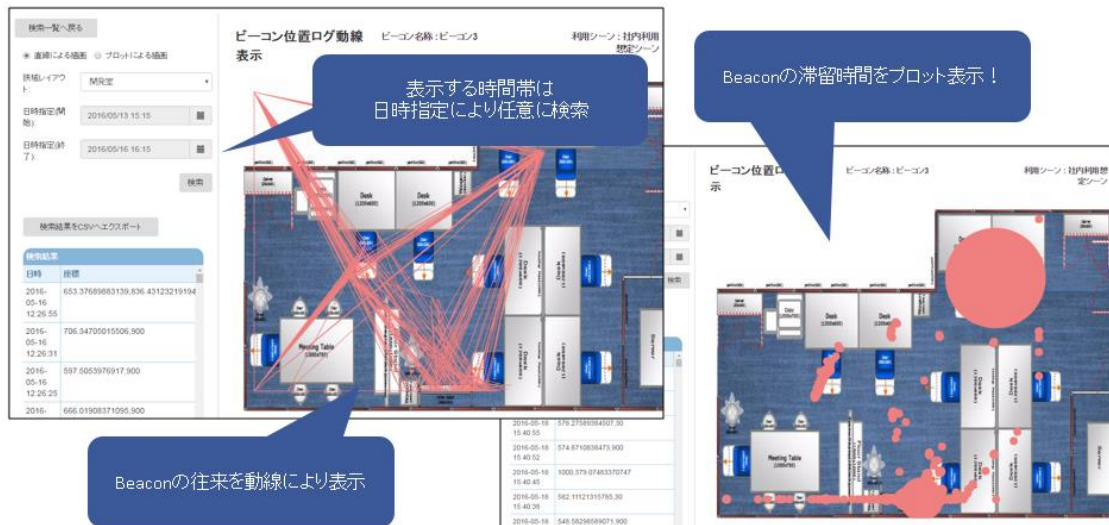
—受信機（スマートフォン）で iBeacon の電波を受信したときのアクションは、Web 画面での操作のほか、スマートフォン（SOEL アプリ）からも簡単に設定できます。



—SOEL で管理したい項目は、Web 画面上から任意に設定できるので、利用環境（利用シーン）にあわせた名称を即座に登録できます！〔管理者機能〕



—位置情報を表示する機能もあるので、オフィス、商業施設などでの利用を強かにバックアップします。



*本機能は、位置情報を把握する範囲に受信機を複数設置し設置した受信機の配置をフロアマップに登録して利用します。

*フロアマップは Power Point 形式等に対応しているので、既存のデータをそのまま活用できます。

*iBeacon からの電波受信状況により、検知位置が実際の位置とずれる場合があります。

※注 1) 出典：野村総合研究所

※SOEL は、アイ・タップ株式会社の登録商標です。

※その他、文中に記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

お問合せ先

報道関係からのお問合せ先：

アイ・タップ株式会社 SOEL 事務局（花堂） plan@i-tap.co.jp

製品・サービスに関するお問合せ先：

アイ・タップ株式会社 営業部（江口） sales@i-tap.co.jp